

2005 9月前半 カレンダー

お知らせ

- 1 木** 心配ごと相談 (10時~15時、あいぱーく光)
人権相談 (10時~15時、大和支所)
育児相談・1歳児お誕生日相談・歯の健康相談 (13時30分~15時、あいぱーく光)
- 2 金** 開館8周年記念特別展 (10月2日まで、9時~17時、伊藤公資料館)
山口県知的障害者更生相談所の巡回相談 (10時~15時、あいぱーく光)
献血 (9時30分~11時、異設計コンサルタン / 15時~16時30分、アルク光店)
母親教室 (9時30分~11時、あいぱーく光)
さわやかフィットネス (10時~11時、総合体育館)
- 3 土** SPレコードコンサート (10時30分~11時30分、ふるさと郷土館)
- 4 日** 2005ふれあい・健康フェスティバル (9時30分~14時、あいぱーく光)
献血 (9時30分~14時30分、あいぱーく光)
救急の日イベント (10時~15時、会場：浅江ショッピングセンター)
- 5 月**
- 6 火** 木のおもちゃで遊ぼう (9時30分~11時、周防公民館)
健康相談・育児相談・1歳児お誕生日相談・歯の健康相談 (9時30分~11時、周防公民館)
男性料理教室 (9時30分~13時、浅江公民館)
- 7 水** 心配ごと相談 (10時~15時、大和支所)
母親教室 (9時30分~13時、あいぱーく光)
- 8 木** 人権相談 (10時~15時、あいぱーく光)
献血 (9時30分~11時、ひかり製菓 / 13時~14時、大田病院 / 15時~16時30分、梅田病院)
こんなに簡単パソコン入門 (18時~21時、生涯学習センター)
- 9 金** こんなに簡単パソコン入門 (18時~21時、生涯学習センター)
さわやかフィットネス (10時~11時、総合体育館)
- 10 土** 秋の園芸教室 (14時~15時30分、大和総合運動公園)
映画「火火」上映会 (10時~、13時30分~、市民ホール)
ひかりウィメンズセミナー (13時30分~15時30分、光地区消防組合消防本部)
ヤングセミナー (9時~12時、光地区消防組合消防本部)
- 11 日** 衆議院議員総選挙投票日 (7時~20時 / 牛島地区：7時~16時)
光市民テニス大会 (9時~、スポーツ公園)
- 12 月**
- 13 火** 計量器の定期検査 (10時30分~12時、13時~15時、室積出張所)
こんなに簡単パソコン入門 (18時~21時、生涯学習センター)
- 14 水** 計量器の定期検査 (10時30分~12時、13時~15時、浅江出張所)
母親教室 (9時30分~11時、あいぱーく光)
こんなに簡単パソコン入門 (18時~21時、生涯学習センター)
- 15 木** 計量器の定期検査 (10時30分~12時、13時~15時、三島出張所)
心配ごと相談 (10時~15時、あいぱーく光)
排水設備工事責任技術者更新講習 (13時30分~16時、県セミナーパーク)
さわやかフィットネス (10時~11時、総合体育館)
宝くじ文化講演中村雅俊コンサートツアー 2005「再会」(開演18時30分、市民ホール)

9月のごみ収集日 (9月1日~30日)

地区	資源ごみ	埋立ごみ	可燃粗大ごみ
浅江 (JR線路北側)	5日、16日	12日、26日	7日
浅江 (JR線路南側)	6日、20日	13日、27日	7日
島田	6日、20日	13日、27日	28日
光井	8月31日、14日	7日、21日	28日
室積	1日、15日	8日、22日	14日
中島田・三井・上島田・周防	2日、16日	9日、28日	21日
岩田・塩田	新聞等7日、21日 ビン・缶等14日、28日	12日、26日	15日
三輪・束荷	新聞等15日、29日 ビン・缶等8日、21日	12日、26日	28日

毎月第1資源ごみの収集日に、ビン・缶などの資源ごみと一緒に小型家電品を回収します。分解しないで、そのままの形で出してください。

輝いて



監督自らが練習相手となり、子どもたちと一緒に汗を流して指導にあたっています。

この夏、大和地域の小学生3人が団体に西日本プロテック3位に、その内の1人がシングルスで全国大会に出場しました。3人が所属しているのは大和ホープス卓球スポーツ少年団。チームは、22年前の設立の際、「3年後には全国大会出場」という目標を掲げました。その目標は、見事達成。その後、毎年のように全国大会に出場しています。その大和ホープスで長年指導を続けている監督の森本裕典さん。今回は、森本さんに子どもたちに卓球を通して伝えたいこと、身に付けてほしいことなどをお聞きしました。

卓球指導は私に課せられた使命です。

練習の一球から集中して
「卓球の魅力は、単純にみえて意外と複雑なところですよ。」と森本さんは、話します。監督をしている大和ホープスは、全国大会の常連チーム。試合でちゃんと普段の力が出せるよう、試合当日の朝、子どもたちを前に、必ず三つのことを言うそうです。「一球一球よく考えてやること。大きい声を出すこと。仲間の応援をしっかりとすること。」厳しくも温かい森本さんの言葉が、選手たちをしっかりと支える力の一つになっています。

目標を持って取り組んでほしい
個人競技である卓球では、何より自分で考えるということが大切です。そのため、大和ホープスの練習メニューの一つに「課題練習」があります。「子どもたちは自分で課題を考え、練習のときも目標を立てて取り組んでいきます。子どもたちにとっても、自分にとっても、共通する大きな目標は全国大会です。」と熱く語ってくれた森本さん。チーム一丸となった熱い思いが、目標を達成する原動力になっているようです。



地域の小学生に卓球を教え続けて22年
もりもとひろのり
森本裕典 さん
中学生で卓球を始めて卓球歴45年。S51年の熊毛郡対抗の体育大会を機に、卓球活動の場を会社のクラブから地域に移す。S58年に大和ホープス卓球スポーツ少年団を仲間と共に設立。その後、S60年から2代目監督。岩田在住、58歳。

子どもたちがいるかぎり指導を続けていきたい
週3日の練習に、試合や強化練習と、年の三分の一は、卓球指導に費やす森本さん。「正直、自分の卓球もしたいという気持ちはあります。でも、大和ホープスに子どもがいる限りは、指導を続けていきたい。自分に課せられた使命だと思っています。」「子どもたちには、卓球を通して、がんばる力をつけてほしいと願っているそうです。」「一つのことを達成できれば、すべてにつながるはずですよ。」「子どもたちと汗を流す森本さんの姿が、夕暮れの体育館の中でもまぶしく見えました。」

編集後記

8月4・5日の2日間にわたり、島田人形浄瑠璃芝居の奉納上演が行われました。浄瑠璃と三味線の心地よい響きに吸い込まれ、人形たちがまるで生きていくかのように見えてきます。

この夏に帰国した外国人の友人から、人形浄瑠璃が見たいと頼まれたことがありました。実は、そのとき、私は一度も見に行ったことがなく、こんなに近くにすばらしい文化があるながら、それに気付いていなかったことをとても恥ずかしく思いました。伝統芸能の大切さに気付くきっかけくれた島田人形浄瑠璃芝居。皆さんも来年は、是非、日本固有の人形劇の世界に浸ってみてください。

